

大会決議

AI技術の進展は急速であり、教育界においてもその影響は顕著である。人生100年時代やデジタル社会の進展の中で、職業に結び付く実践的な知識・技能・技術や資格の取得に向けて、リスキリング・リカレント教育を含めた職業教育の重要性が高まっている。

専修学校および各種学校は、実践的な職業教育を通じて社会に有為な人材を輩出しており、AI技術を活用することでさらに質の高い教育を提供することが求められている。

これらの支援策としてAI時代に即した高品質な教育の推進を加速し、我が国の教育水準を世界的に競争力のあるレベルへと引き上げることを目指し、社会に貢献できるかを探求する。また、国際化推進事業と外国人留学生キャリア形成促進プログラムの運用、高度外国人材の定着率の向上を目指し、企業と連携した環境整備を行うことも確認された。さらに、持続可能な社会に貢献できる人材を育成するため、環境問題に触れる機会を提供することも重要である。

以下の大会決議は、これらの議論の成果を基に策定され、具体的な取り組みを推進するための指針とする。

記

1. AI教育の推進として、基礎から応用までを網羅するカリキュラム開発と教職員のAI教育スキル向上の研修を推進する。学校運営の効率化と教育の質向上のため、AIツールの活用促進と、学習進捗や満足度データ分析による教育改善を図る。
2. 持続可能な社会に向けた教育として、学生が環境問題に取り組む機会を提供し、持続可能な社会に貢献できる人材を育成する。
3. 社会人の学び直し機会の提供として、リスキリングプログラムで最新技術を習得できるキャリア再構築の体制づくりと新たな職業機会を支援する。
4. 留学生の戦略的な受け入れと支援として、円滑な就職および定着に向けた支援や日本語教育の強化を行う。異文化理解教育や海外研修を通じ、国際的ビジネススキルを育成するカリキュラムを導入し、専門学校の国際化とグローバル人材を育成する。

以上のとおり本大会において決議する。

令和6年8月21日

全国専修学校各種学校総連合会
第54回北関東信越ブロック大会